

# 生産統計の主な業務 ~ 田や畑に出向いて、農作物の生産状況等を把握 ~

田や畑に作付けされている農作物(水稲、野菜、果樹等)の作付面積、生育・被害状況の把握、サンプルの収穫作業などを行い、その結果を調査票に記入し、提出する業務です。

## 水稲の穂数・もみ数等の実測

### 【調査時期】

年間3回程度(基本として8月、9月、10月)

### 【業務内容】

水田内において、うね幅、株間、穂数、もみ数等の計測



## 水稲の刈取調査

### 【調査時期】

農家が収穫する直前

### 【業務内容】

- 水田において約60株の刈取り、脱穀
- 脱穀したもみの重量計測



## 畑作物・野菜・果樹等の作付面積、生育状況等の把握

### 【調査時期】

作付面積: 基本年間4回(原則2月、5月、8月、11月)

生育状況等: 基本として毎月

### 【業務内容】

- 調査区画内にある農地に作付けされている農作物名及びその面積の確認
- 調査区画内にある農地に作付けされている農作物の生育・被害状況の確認



レタスの作付

## 農地の状況の把握

### 【調査時期】

原則として6月~8月

### 【業務内容】

調査区画内にある農地について農地転用、災害からの復旧、荒廃農地の発生・解消状況等の確認

道路転用



## 必要とされる主な知識・能力等について

- 水稲のもみのうち稔実するもみと不稔実になるもみの識別
- 農地の現状把握について、不作付地なのか荒廃農地なのかの判断や復旧・開墾について、耕作できる状態であるかどうかの判断
- 水稲以外作物の当年の生育状況を観察し、平年の生育状況と比較することによる作柄評価
- 調査対象等とのコミュニケーション能力